



豊後大野市 農業委員会だより

第22号

豊後大野市農業委員会
令和2年3月1日



お餅パワーで 元気モリモリ!

12月14日、大野町の「おおのルンビニこども園」で、餅つき大会がありました。

園児は、家族と一緒に、ペッタン、ペッタンと餅つきをしました。

それから、あんこ餅作りに挑戦。自分で丸めたあんこ餅はとりわけ美味しかったです。



適化を図ろう

「明日の農政を考える集い」を開催

令和元年度明日の農政を考える集い

農業委員会による意見・要望等の集約

令和2年度豊後大野市農政施策に関する要望の決定

市長へ「要望書」の提出



豊後大野市農業委員会では昨年9月13日、農業関係団体代表者等との意見交換会「令和元年度明日の農政を考える集い」を開催しました。

この会は、「農業委員会等に関する法律」の規定に基づき、市に対する農政施策に関する「要望書」を提出するため、農業の最前線で活躍されている方々の的確で建設的な意見・要望等を事前に集約することを目的に毎年開催しているものです。

今回は、近年、農業を始めた若手の農業者や女性農業者の意見を聞くため、農業青年協議会、新農業者協議会、おおいたAFFネットワーク、JA女性部の4団体の代表者に出席していただきました。県豊肥振興局や市農業振興課・市農林整備課、農業委員会と、活発で建設的な意見交換会が行われました。

会長 あいさつ

豊後大野市農業委員会
会長 後藤 敏生



市民の皆様におかれましては、ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。また、平素より、農業委員会の業務に対しまして、特段のご高配を賜り厚くお礼を申し上げます。時代は平成から令和へと変わり、新たな幕開けとなりましたが、昨年は全国各地で、台風・豪雨により甚大な被害が発生しました。被害に遭われた方々には心よりお見舞いを申し上げます。被害に遭われたにも、一日も早い復旧・復興を願うところです。

農業は高齢化と担い手不足、加えて獣害により遊休・荒廃農地が増加傾向にあり、農村は深刻な状況に直面しております。そこで国は、農地利用の最適化として「人・農地プラン」による農地の集積・集約化を業務として推進することになり、農業委員会は、本年はこの活動をもとに、実現に向け農業振興・発展に取り組んでまいります。

国内では人口減少の一途をたどり、食糧自給率の低下に拍車がかかっています。一方、世界では人口が増加し、そのうえ、国際的な貿易の自由化が進み、食品等は手ごろな価格になりつつあります。安価な農作物や食品の海外からの流入は、国内の生産農家の経営を一段と厳しい状況にしていると感じますし、そうした輸入品は、食の安心、安全を保障できるかという懸念も感じられます。

私ども、農業委員会は、法改正による新たな体制の中で、1期3年が今年5月で改選の運びとなりました。市民の皆様には、大変お世話になりました。感謝とお礼を申し上げます。

また、新たな委員が選出されますが、新体制となりましても、変わらぬご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

市民の皆様がますますのご健勝とご多幸をご祈念申し上げます。あいさつといたします。

農地利用の最

豊後大野市農政施策に関する要望書を提出

昨年12月17日、農業委員会では「令和2年度豊後大野市農地等利用最適化推進施策に関する要望書」を市長へ提出しました。

これは、農業委員会が農業の現場と地域に根ざした組織として、地域農業の担い手である個人や団体の意見・要望などを集約し、次年度の農業施策への提言として、毎年、予算編成時に「要望書」を提出しているものです。

特に近年、農地の荒廃、遊休化が進んでいることから、新規就農者や農業後継者など担い手の育成と支援のための営農指導体制の充実と、被害が年々拡大している鳥獣害対策を強く要望しました。



令和2年度豊後大野市農地等利用最適化推進施策に関する要望書の内容

① 農地対策

(1) 農地の保全について

② 担い手対策

(1) 営農指導体制の充実について

③ 農村対策

(1) 鳥獣害対策の強化について
(2) 家畜の伝染病対策について
(3) 高齢化に対応した農業施策の展開について

ふるさとまつり

農地相談コーナーと
ポン菓子の無料配布

昨年、11月10日、秋晴れの下「第9回ふるさと祭り」が開催され、会場は多くの来場者で賑わいました。

各道の駅の軽トラ市では、白菜・大根・里芋・甘藷など、旬の農作物が並びます。美味しそうな匂いに誘われ広場へ行くと、ステージでは人気アニメのキャラクターショーの真っ最中。たくさんの子供たちが、一緒に楽しそうに踊っています。

別府ケーブルラクテンチでおなじみのアヒル競争では、色とりどりの首輪をつけたアヒルたちがおじさんの号令で頭を振りながらヒョコヒョコ走るかわいらしい姿が。応援しているみんなも笑顔です。

今回も、農業委員会では農地及び農業者年金の相談コーナーを設け、農業委員会のPRとしてポン菓子の無料配布も行いました。ポン菓子は農業委員・農地利用最適化推進委員で協力して作ったものです。豊後大野市のお米で作った、懐かしいお菓子。皆さんに喜んでいただけました。

農業委員会は、農地を守る活動をしています。農地が活用されているか、農地の荒廃を防ぐにはどうしたらいいか、転用の許可について…など、農地の悩み、困りごとがありましたら、まずはお気軽にご相談ください。

(T.K)



九州・沖縄ブロック女性農業委員研修会 ——(鹿児島県大会)に参加して——

女性農業委員の活動紹介

令和元年度の「九州・沖縄ブロック農業委員会女性委員研修会」が、9月11・12日に鹿児島市で開催されました。初日は、「農地利用最適化の推進と女性委員の役割について」というテーマで、パネルディスカッションが行われました。

各県の代表が、それぞれの地域での活動体験を発表し、大分県代表として豊後大野市農業委員会の後藤綾子委員が発表しました。

後藤委員は、法改正により新たに導入された中立委員(非農家)です。そんな立場だからこそ、市民の皆さんに農業委員会の活動をもっと知ってもらいたいという思いで広報誌「農業委員会だより」の記事の作成・編集に携わっていることや、農業者年金の必要性について発表しました。

年々、参加者が増えているこの研修会では、他県の女性委員と意見交換する時間もあり、多くのことを学べる有意義な研修会だと感じた2日間でした。(T.K)



～女性農業者と意見交換会を行いました!～

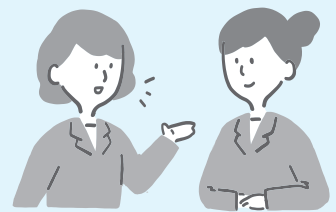
「ベテラン農家さんの前では、気後れしてなかなか意見が言えない」。こんな若手女性就農者の声を聞いた私たち女性委員は、もっと気楽に話せる場を設けて考えを聞いてみたい…ということで、8月9日、市内にてミニ意見交換会を行いました。参加いただいた女性就農者は5名。農業委員会からは女性委員3名と事務局1名が参加しました。

まず、農業委員会の業務について説明しました。また、農業者から出された意見・要望をまとめ、県や市に「意見・要望書」として毎年提出していることで、農業施策に反映されていることなどを話し、農業委員会への理解を深めてもらいました。

非農家の生活から一変、未来を農業に託し豊後大野市に移り住み、知り合いのいない慣れない土地で生活する彼女たち。おしゃべりするうちに気持ちがほぐれたのか、次から次へと意見が出てきました。「若者や女性が意見を言いやすい環境を」「仲間づくりがしやすい環境を」「安心して子育てできる環境を」「女性ひとりでも就農できるようサポートを」「地域の女性農家さんに農業はもちろん料理など教わりたい」。

私たちも彼女たちの言葉をしっかり受け止め、行政や地域との架け橋になり、少しでも問題解決へのお手伝いできればと思いました。

(T.K)



農政コラム

～農業委員の活動から～

パート主婦の私が農業委員に選出していたから、もうすぐ3年になる。非農家の立場での中立委員の位置づけだ。

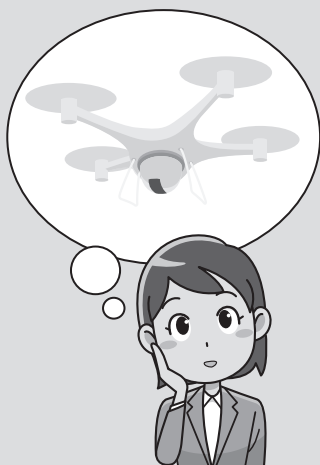
任期終了を前に思うことは「農業ってすごく広くて、すごく深い」ということだ。

実際、今でも自らが農業に携わっていないため、何かを栽培しても目も当てられない状況になるだろう。

でも、農業を取り巻く問題やこれらの課題についてはわかるようになってきた。食料自給率の大切さ、種子法やTPPなどの貿易問題の怖さ。3年前、農業委員を経験する前の私が、今の私の話を聞いたら驚くだろう。

農業は、高齢化・担い手不足で新しい流れが来ている。無人トラクターやドローンなど。農業はこれから面白くなる。『Be ambitious!』

(R.G)



豊後大野市下限面積情報

農地を売買・贈与したり、貸し借りしたりする場合には、農地法第3条の規定に基づく農業委員会の許可が必要です。その許可要件の一つに許可後の耕作面積が国の基準では50アール以上必要となっています。

しかし、この下限面積が、平成21年12月の改正農地法により、地域の実情に応じて農業委員会の判断で引き下げることができるようになり(農地法第3条第2項第5号)、豊後大野市では、40アールの他に「空き家に付随した農地に限定した農地」について1アール(規則第17条第2項の適用)に定めています。(平成29年1月18日告示)

また、令和元年12月13日の第2回委員協議会において、下限面積の見直しを検討した結果、引き続き40アールとなり、また、「空き家に付随した農地に限定した農地」については、1アールに(1アール未満の場合その面積)と変更になりました。

1. 特定の区域に限定した設定

設定区域	設定面積(下限面積)
豊後大野市全域	40アール

2. 空き家に付随した農地に限定した設定

設定区域	設定面積(下限面積)
空き家に付随した農地 (農業委員会が指定した農地に限る)	1アール (1アール未満の場合その面積)

◆令和元年12月16日から適用しています。

適用を受ける農地が付随している空き家は、あらかじめ空き家バンクに登録されており、その農地は事前に1筆ごとに農業委員会の指定を受ける必要があります。

2の設定は、1の設定に優先して適用となります。

※詳しくは、農業委員会にお問い合わせください。

豊後大野市農地賃借料情報

平成30年1月から12月までの1年間に締結された賃借料の水準(10aあたり)は、下表のとおりです。

農地の区分	平均額(円)	最高額(円)	最低額(円)
田	11,100	37,600	3,400
畑	8,700	23,000	3,000

(注)この表の金額は、あくまで賃借料の水準を示したものであり、実際に契約する際の目安や参考となるものです。

1. 賃借料を物納支給(水稻)している場合は、60Kg当たり、13,500円(平成30年産ヒノヒカリ1等米価)に換算しています。

2. 金額は、算出結果を四捨五入し、100円単位としています。

3. 「市内平均(参考)」の額は、各区分の平均額をデータ数により加重平均した値です。



豊後大野市特産品で作るレシピ

ホットケーキミックスで、里芋入りもちもち焼きドーナツ



材料

・里芋 Mサイズ 4個(皮むいた状態約100g) ・ホットケーキミックス150g
 ・砂糖30g ・牛乳100cc ・卵 1個 ・バター 約10g **用意するもの ドーナツシリコン型**

シロメを使う方が
しっとりもちもちに
なります

作り方

- ① 里芋をレンジで柔らかくしてから皮を剥き、フォークなどで潰す。
やけどに注意
- ② 冷ましてから、潰した里芋に、砂糖、牛乳、卵を混ぜ合わせる。
- ③ オープン**余熱180度**に準備する。シリコン型にはバターを塗っておく。
- ④ ホットケーキミックスを②に混ぜる。
- ⑤ ビニール袋などで型に流しオープンで**12~15分**焼く。



豊後大野市農業委員会だより 第22号 発行：豊後大野市農業委員会 大分県豊後大野市三重町市場 TEL.0974(22)1001

ふるさとの大地を守る "若き鉄人たち"



今回は、大野町後田で農業を営む芦刈裕章さんをご紹介します。

芦刈さんは、ご家族で葉たばこ510a、里芋130a、大根30aを生産されています。

祖父母の代からの農業をみて育ち、「農業は大変だけど儲かるイメージ」を持っていたそうです。高校卒業後はしばらく会社員として働かれていましたが、「祖父母が元気なうちに帰って農業をしたい」と思い就農しました。

農業について伺うと、「農業経営の魅力は、やりがい。自分が頑張って作業計画を立てていけば、その分、生産もうまくいく」とのこと。それとは別に「地域の

仲間たちとのコミュニケーションが、仕事の息抜きで、楽しみです」とおっしゃいます。今後の目標としては、経営をもっと安定させることができたのちは、野菜部門も増やしていきたいそうです。

祖父母とご両親、そして奥様と3人の子供さんたち…と、大家族の芦刈さん。さわやかな笑顔が印象的でした。これからもがんばってください！

農業者年金は 積立年金

安心で豊かな老後のために農業者年金に加入しましょう！

農業者年金加入条件

次の要件を満たす方はどなたでも加入できます。

- ① 60歳未満の方
- ② 年間60日以上農業に従事(配偶者・後継者も可)
- ③ 国民年金第1号被保険者

農業者年金のメリット

- ① 保険料は全額が社会保険料控除され節税になります
- ② 政策支援加入で国庫補助が受けられます
対象は認定農業者、認定新規就農者で青色申告をしている人。このほか、上記の家族経営協定を結んだ配偶者や後継者も対象になります。
- ③ ライフステージに応じて保険料を変更できます
若くて収入が少ないときは政策支援を活用するとよいでしょう。収入が多い時は保険料を増やせば節税メリットも拡大します。
- ④ 確定拠出型のため安心な年金制度となっています



詳しくは農業委員会へご相談ください。 TEL .0974-22-1001

編集後記

平成28年4月1日に改正農業委員会法が施行され、農地利用の最適化の推進が必須業務に位置づけられる中、本市では平成29年5月から、最適化推進委員と共に新体制となりました。

農地パトロールの実施、担い手への農地利用の集積・集約、並びに戸別訪問による意向調査等を行い取り組んできましたが、推進することの難しさを肌で感じた3年間でした。

また、編集委員として農業委員会の活動や、農地に関する情報を皆様にお届けし、「読みやすい広報誌」役に立つ情報誌に心がけてきましたが、いかがでしたでしょうか。

私たちの任期もあとわずかとなりました。紙面を作成するにあたり、ご協力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。
(T・A)

第22号編集委員

委員

- 工藤清
- 藤田義
- 妙子
- 伊藤綾
- 幸子
- 後藤
- 藤田
- 茂子
- 小田
- 島
- 伊八
- 善郎
- 安藤
- 藤田
- 哲隆
- 生善

農地に関するご相談

地域の農業委員、農地利用最適化推進委員または農業委員会事務局へ！
■豊後大野市農業委員会事務局 TEL.0974(22)1001 内線2380~2383